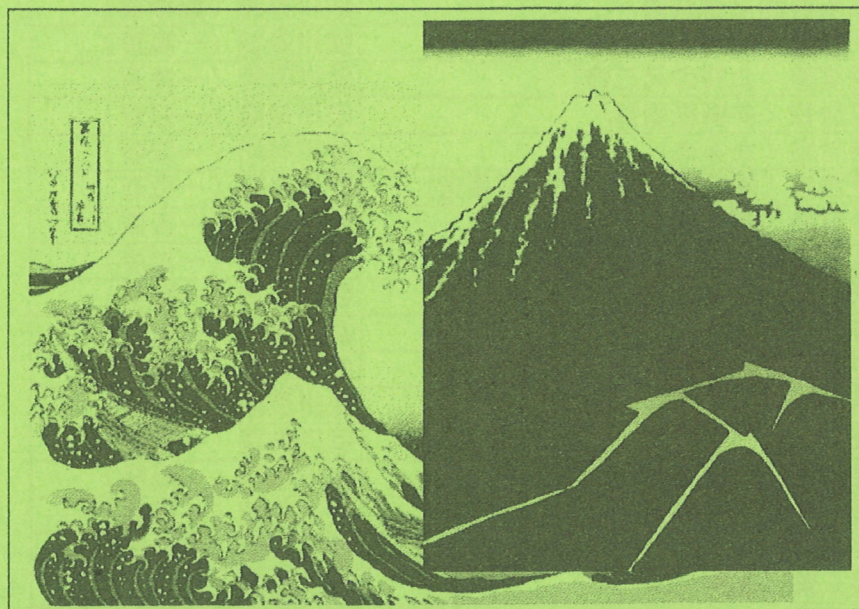


高鍋町美術館

富嶽三十六景展

画狂人 葛飾 北斎



平成18年4月4日(火)～4月30日(日)

開館時間: 午前10時～午後5時

＜入館は午後4時30分まで＞

完全復刻版(36景追加10景)

葛飾北斎が10年の永きにわたって制作した最高傑作の復刻版を公開いたします。

江戸末期、フランスの画家ブラックモンに贈られた伊万里焼の包みとして、初めて海外に渡った北斎の浮世絵は、マネやゴッホなどの画家を驚かせ印象派誕生のきっかけになったり、作曲家ドビュッシーに靈感を授け、交響曲「海」が作曲されたとも言われています。

観覧料(常設展観覧可)

大人: 210 円

小中高生: 100 円

(町内小中高生無料)

小学生未満無料

団体割引(20人以上)

葛飾北斎

1760(宝暦10)年9月本所割下水に生まれました。そこは下総国葛飾郡に所属していたことから自らを葛飾の百姓とか、葛飾の北斎と名乗っていました。

本名は姓が藤原、幼名が時太郎、後に鉄蔵と言いました。

十余歳で彫刻師のもとで彫刻を学びますが、19歳のとき勝川春章の門下生とない浮世絵師を目指します。

翌年に勝川春朗と号し勝川派流役者絵を発表して以来、寛政年間に至るまで役者絵や美人画を描き続けました。

しかし、それだけに飽き足らず独自の新境地を求めるため、号を北斎と改め風景画に没頭します。

ここに至るまで独学はもちろんのこと淋派や土佐派など伝統的大和絵の画法を学び、更に銅版画、支那画に及ぶまで諸種の画法の研究を重ねました。

その習得した独自の技法をもって人間を含めた大自然の森羅万象を描こうとする情熱を終生持ち続け、ただひたすらに写實的に描こうとした態度は、自己の芸術に対する執念の激しさを思わせます。

その集大成が、「富嶽三十六景」なのです。

これらは一面豪放に描かれているように見えますが、一方すこぶる細心の注意を払っています。

特に北斎が最も長けていることは幾何学的用法であったり、波浪の変化であったり、筆致の妙であることがよく分かります。

日本画の山水と異なり、あくまでも人間を中心とした風景画であって北斎にして初めて考え得たものといえます。

北斎の作品には「富嶽三十六景」のほかに「北斎漫画」「詩画写真鏡」「諸国滝廻り」「諸国名橋奇覧」「百人一首姥が絵とき」「千絵の海」などがあり、精力的に制作していました。

北斎は1849(嘉永2)年4月19日に90歳で没していますが、その間際に「真正の画工になるためにあと5年欲しい。」と、言い残しています。

限りない芸術の追求が常にあったのでした。

富嶽三十六景目次

白抜き数字は裏不二と称されるもので三十六景以後追加されたものです。

題 名	題 名
1 江戸日本橋	24 さがみ うめざわのしろう 相州梅沢庄
2 え みやするがまち みついで み せ りやくず 江都駿河町三井見世略図	25 さがみ はこね こすい 相州箱根湖水
3 とうと するがだい 東都駿台	26 するが おおの しんでん 駿州大野新田
4 こいしかわゆき あした 磯川雪の旦	27 がいふうかいせい 凱風快晴
5 あおやまえんざ まつ 青山円座松	28 さんか はくう 山下白雨
6 おんでん すいしや 隠田の水車	29 もろびととさん 諸人登山
7 しめめぐる 下目黒	30 とうかいどう えじり たごの うら りやくず 東海道江尻田子浦略図
8 とうと あさくさ ほんがんじ 東都浅草本願寺	31 するが えじり 駿州江尻
9 おきゆう かわがし りょうごくばしゆうひ み 御厩川岸より両国橋夕日見	32 するが かたくら ちゃえん ふじ 駿州片倉茶園ノ不二
10 ふかがけ まんねんばしした 深川万年橋下	33 とうかいどう かなや ふじ 東海道金谷ノ不二
11 ほんじよたてかわ 本所立川	34 とおとうみさんちゆう 遠江山中
12 ぶ ようつくだじま 武陽佃島	35 とうかいどう よしだ 東海道吉田
13 ちひやく てら 五百らかん寺さざあどう	36 びしゅう ふじ み はら 尾州不二見原
14 ぶしゅう せんじゅ 武州千住	37 しんしゅうわ こ 信州諏訪湖
15 たてせんじゅ はなまちちようぼう ふじ 縦千住花街眺望ノ不二	38 こうしゅういざわのあかつき 甲州伊澤暁
16 すみだがわ せきや さと 隅田川関屋の里	39 こうしゅうみさか すいめん 甲州三坂水面
17 とうかいどう しがわごてんやま ふじ 東海道品川御殿山ノ不二	40 こうしゅうみしま ごえ 甲州三嶋越
18 むさし たまがわ 武州玉川	41 こうしゅうかじがざわ 甲州石班澤
19 かながわ おきなみうら 神奈川冲浪裏	42 みのぶ かわ うらふじ 身延川裏不二
20 とうかいどう ほど や 東海道程ヶ谷	43 こうしゅういぬめ とうげ 甲州犬目峠
21 さがみ しちり はま 相州七里浜	44 ひたち うしほり 常州牛堀
22 さがみ え しま 相州江の島	45 のぶと うら 登戸浦
23 さがみ なかはら 相州仲原	46 かずさ かい路 上総ノ海路

所蔵浮世絵（回廊）

題 名	作 者 名
美人画	歌川国芳（一勇斎）
俱梨伽羅谷合戦	歌川芳虎（錦朝樓）
里見八犬傳惣巻尾	歌川豊国（應需）
若紫年中行事之図	歌川豊国（一陽斎）
芝居絵（勧進帳）	歌川国周（一鶯斎）
八嵐槽浦之合戦図	歌川芳虎（錦朝樓）
芝居絵（玖入村ノ惣太）	歌川豊国（一陽斎）
芝居絵（お辰の兄三作）	歌川国芳（一勇斎）
芝居絵（井筒屋新助）	歌川豊国（一陽斎）
芝居絵（かるた）	歌川国周（一鶯斎）
芝居絵（濡髪長五郎・放駒乃長吉）	歌川豊国（一陽斎）
芝居絵（綱五郎・小糸）	歌川国芳（一勇斎）
芝居絵（仮名手本忠臣蔵）	歌川国貞（一雄斎）
雪	歌川国周（一鶯斎）
雪	歌川国周（一鶯斎）
義士誠忠復讐略図（六）	歌川豊国（一陽斎）
義士誠忠復讐略図（四）	歌川豊国（一陽斎）
義士誠忠復讐略図（三）	歌川豊国（一陽斎）
義士誠忠復讐略図（貳）	歌川豊国（一陽斎）
義士誠忠復讐略図（壹）	歌川豊国（一陽斎）
忠臣蔵討入	歌川芳虎（錦朝樓）
美人画（花魁）	歌川国安
美人画	歌川豊国（一陽斎）
美人画	歌川広重
美人画（夕涼み）	歌川豊国（應需）
芝居絵（市川団十郎・岩井桑三郎）	歌川国安
美人画（傘）	溪斎英泉
美人画（赤子）	歌川国貞（一雄斎）